

# 大阪城公園周辺地域 まちづくり方針（概要版）

## まちづくり方針策定の経緯

- 令和4年策定の大阪のまちづくりグランドデザインでは、まちづくりの戦略として、大阪城の周辺について、国際的な観光・文化・学術・産業の融合エリアの形成をめざすことを示した
- 大阪城公園周辺地域を東西軸の新たなヒガンの拠点と位置づけ、更なる国際競争力の向上に向け、にぎわいの創出や、ビジネス環境の充実等といった観点から、3つのエリアを一体としてとらえたまちづくりを推めることが必要
- 事業者、行政など街づくりに関わる関係者の共通指針となるよう方針を策定

## まちづくり方針の対象地域と位置づけ

- 都市再生緊急整備地域に指定されている大阪城公園周辺地域のうち、「大阪京橋駅周辺」、「大阪ビジネスパーク駅周辺」、「森之宮周辺」の3つのエリアを中心とした右の図に示す範囲を対象地域とする
- まちづくりの具体化を踏まえ、大阪城公園周辺地域が一体となったまちづくりを進めるため、まちづくりの目標や土地利用の方針、基盤整備の方針を示すもの



## まちづくりの目標

**目標1：**  
インバウンドを含めた観光客を呼び込む「国際観光拠点の強化」

国際的な集客・滞在・商業空間の導入等エリア内施設における効果的なプロモーションなどを図り、大阪城公園の観光客を地域内でより一層、回遊・滞在させることで拠点強化を図る

**目標2：**  
ICTを軸にした「国際的なイノベーション拠点の形成や国際人材の受入環境の整備」

NTT西日本のオープンイノベーション施設「QUINT BRIDGE」や大阪公立大学など立地を活かし産学官の連携を図り、国際性・多様性のある人材等やアイデアの循環・交流によりイノベーションを創出するために、プラットフォームを設置

**目標3：**  
「人・モノ・情報の交流の促進」

地域分断の解消や駅機能の集約化等に伴う利便性向上をめざし道路ネットワーク・交通結節点の強化を図るとともに、人中心の空間として歩行者ネットワークの構築等を図る

## 土地利用の方針

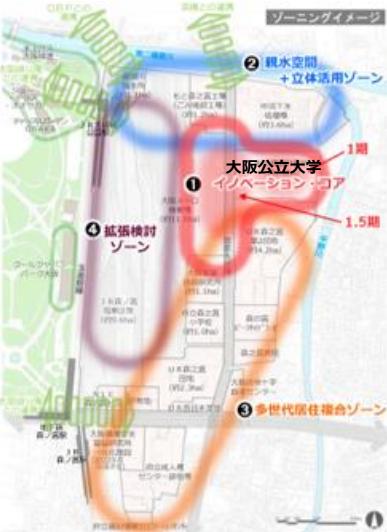
### 【大阪京橋駅周辺・大阪ビジネスパーク駅周辺】

- 駅前では、国内外からの観光客を呼び込む集客施設や宿泊施設などの複合開発により、「国際的な集客・滞在・商業空間」及び「賑わい拠点」(①)の形成を図る
- 歩行者の主動線の再構築により「新たな歩行者ネットワーク」(②)の形成を図る
- ICT関連を中心とした企業集積等を活かし、公立大学の学生等や海外企業など多様なパートナーと連携した「スタートアップ・ベンチャーエリア」(③)の形成をめざす
- 広域交通拠点とアクセス機能強化に資する「人中心の駅前空間・拠点」(④)の形成を図る

【大阪京橋駅周辺・大阪ビジネスパーク駅周辺】



【森之宮周辺】



### 【森之宮周辺】

「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」（令和2年大阪府・市策定）に基づく施設の整備を進める

- イノベーション・コアゾーン**
  - 1期での森之宮キャンパスの整備後、1.5期として大学施設関連機能を中心に、多様な機能を確保し、イノベーション誘発を図る
- 親水空間+立体活用ゾーン**
  - 河川との親水性や大阪城公園との一体性確保
  - 鉄道施設等の上武利用など土地の高度利用を図る
- 多世代居住複合ゾーン**
  - 健康医療機能と連携しながら商業・業務なども含めた住環境の充実を図る
- 拡張検討ゾーン**
  - 将来的な利用範囲の拡大や土地利用転換等も検討

## 基盤整備の方針

### 【大阪京橋駅周辺・大阪ビジネスパーク駅周辺】

- JR片町線・東西線の別線地下化（連続立体交差事業）(①)
  - 地域分断の解消や駅機能の集約化等に伴う利便性の向上を図るとともに、土地利用価値の向上に資するよう事業再開を図る
- 道路ネットワークの構築や交通結節機能の強化、市街地の一体化・大街区化による土地の高度利用
  - 道路ネットワークの強化等のため都市計画道路豊里矢田線(②)を整備促進
  - 地区内の南北道路を新設(③)し、地区内交通の円滑化や地区活性化を図る
  - 関西国際空港方面等とのバス路線や、周辺の各エリアを結ぶ新たなモビリティやタクシー等の交通結節点(④)となる南北の駅前ロータリーを整備
- ウォーカブルな空間の充実
  - にぎわい・憩いの創出に資する人中心の広場を備えた駅前空間・拠点(⑤)の形成をめざし、都市計画道路玉造筋線の計画を見直す
  - 利便性・安全性に優れた歩行者ネットワークの再構築をめざし、既存の大阪京橋プロムナード・パークアベニューの構築に加えて、官民連携して新たな歩行者ネットワーク(⑥)を整備



## スケジュール

	短期	中期	長期
	2025年	2030年	2040年
<b>3エリアの取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各主体が取り組む観光関連情報の収集や効果的な発信等、エリア間の連携体制の構築及び取組の実施の検討（観光プロモーション等の実施）</li> <li>大阪城公園周辺地域イノベーションプラットフォームの設置及び取組の実施（情報発信、イノベーション誘発に向けた取組等）</li> </ul>		
<b>土地利用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間都市開発の検討・具体化</li> <li>既存ビル等のリノベーションの検討</li> <li>1期開発 大阪公立大学1期キャンパスの開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間都市開発の実現 → 観光案内機能等の導入 → イノベーションに資するオフィス等の整備</li> <li>民間都市開発の検討・具体化</li> <li>民間都市開発の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>線路跡地の活用</li> </ul>
<b>基盤整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR東西線・片町線の連立の連立事業の事業再開</li> <li>豊里矢田線（事業中）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR東西線・片町線の連立の都市計画決定・事業認可</li> <li>北側駅前ロータリー・人中心の広場を備えた駅前空間（北側）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR東西線・片町線の連立事業の事業完了</li> <li>歩行者ネットワークの整備</li> <li>南側駅前ロータリー・人中心の広場を備えた駅前空間（南側）</li> <li>南北道路の開通</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.5期開発 新駅、駅前空間（人中心の広場、交通広場）歩行者空間（大阪城公園接続デッキ、水辺の歩行者空間、民間開発地内の通路など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2期、3期開発</li> <li>【対象】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>多世代居住複合ゾーン</li> <li>水辺区間+立体活用ゾーン</li> <li>拡張検討ゾーン</li> </ul> </li> </ul>	

■ 開発動向 (令和7年3月時点)

